



2016.4.29
コチ コンサルティング

一人っ子政策廃止後の地域条例が出そろってきましたが、その運用の詳細に関するお問合せが多数寄せられています。同時期に地方条例が一斉に発布されたことで、地方ごとに異なる政策への対応という中国における人事労務の課題が顕在化しています。

本号では、新たな結婚休暇、出産休暇制度の運用に関わるQ&Aを通して、地方条例の適用基準についてご報告いたします。

また、最近、商業賄賂、職権乱用等の不正にかかわる問題が多発しています。中国特有の人間関係である“関係（Guanxi）”について、弊社スタッフコラムより関連コラムを転載いたします。

内容 【人事・労務情報】
■ 地方条例の適用基準
【コラム】
『中国特有の人間関係“関係（Guanxi）”は変わるのか』

人事・労務情報

■ 地方条例の適用基準

Q労働契約履行地と労働契約締結地が異なる場合 いずれの条例に従うべきか？

質問 本年4月に上海法人にて採用するA氏は3年間の労働契約を上海法人と締結し、社会保険、住宅積立は上海市の納付予定です。当初の1年間は深圳分公司勤務を予定しています。深圳分公司勤務の1年間に、結婚、出産休暇を取得する場合、上海、深圳いずれの条例に従うべきですか？

また、東莞分公司 of B氏は本人意向を受け入れ、会社は深圳市に社会保険、住宅積立を納付しています。B氏は東莞、深圳どちらの条例に従うべきですか？

政策

	結婚休暇	産休					
		産休	晩育休暇	難産休暇	多胎児産休	延長産休	介護休暇
上海市	10日	98日	—	15日	15日	30日	10日
深圳市	3日	98日	15日*	30日	15日	30日	15日
広東省	3日	98日	—	30日	15日	30日	15日

*深圳では国家法規で廃止された晩育休暇（24歳以上の第一子の出産に付与されていた休暇）がいまだに有効とされています。2月29日より晩育休暇に関して、広東省の延長産休30日に30日を加算する案が意見公募稿にて検討されています。

回答 A氏は労働契約法実施条例第14条に従い、労働契約履行地の深圳条例に従うこととなります。B氏は労働契約履行地が東莞ですので、東莞の条例（広東省条例）に従うこととなります。

法規《中華人民共和国労働契約法実施条例》第14条

「労働契約履行地と雇用単位の登録地が異なる場合、労働者の最低賃金、労働保護、労働条件、職業危害保護等は労働契約履行地の関連規定に基づき執行する。雇用単位登録地の関連基準が労働契約履行地の関連基準よりも高く、かつ雇用単位と労働者が雇用単位の登録地の関連基準に基づき執行することを約定している場合、その約定に従う。

NAVI 労働関係の執行“地点”の基準は下記のように多様です。

A：雇用単位登録地 B：労働契約履行地 C：社会保険納付地 D：労働報酬支払地

本来、A～Dは同一であることが望ましいものの、社会保険制度の未整備な中での

・地域間異動の活性化 ・法人登記規定の要因 ・税務上の要因等の事情から、労働関係の執行地点が複数になるケースが多発しています。

社会保険の適正受給のためには、B=C=Dであることが望まれますが、ご質問のB氏のような例は多くみられます。この場合は労災保険、失業保険が受給できないこととなるのが一般的です。

労働条件を規定する条例の適用地点の優先順位は **B：労働契約履行地>A雇用単位登録地** となります。

A雇用単位登録地の条例を適用する場合（本社基準を分公司に適用する場合等）は以下の二つの条件を満たさなければなりません。

1. 雇用単位登録地の関連基準が労働契約履行地の関連基準よりも高い。
2. 雇用単位と労働者が雇用単位登録地の関連基準に従い執行することを別途約定している。

A：雇用単位登録地 B：労働契約履行地とも不明確な場合は、D：労働報酬支払地の政策を適用することとされています。（《最高人民法院〈中華人民共和國民事訴訟法〉の適用の解釈》第十八条）

一人っ子政策廃止に関わる政策に限らず、人材移動の活性化、勤務地異動の増加にともない、地域条例への対応には留意が必要と思われる。

コラム

中国特有の人間関係“関係（Guanxi）”は変わるのか？

春節休暇直前のある朝、高額の人民元及び外貨、クレジットカードが入ったお財布がなくなっていることに気づいて慌てていると…タクシー会社から「何かなくしていませんか？」との電話が入りました。前日の夜、タクシー代を支払った際にお財布をタクシーに落としてきた模様。領収書の宛名書き用にお財布に常備していた名刺を見て、タクシー会社からの連絡が入った次第。

社員にお財布を取りに行かせたところ、そっくりそのまま返却されました！
Q:さて、中国ではこの感謝の気持ちをどう表すのが最も効果的でしょうか？

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| ① 紛失総額の10%を謝礼としてドライバーに渡す。 | ② タクシー会社に菓子折りを届ける。 |
| ③ ドライバーに感謝状を送る。 | ④ タクシー会社に感謝状を送る。 |
| ⑤ 新聞に“こんな良い会社がある！”と投書する。 | ⑥ 微信で“中国はすごい！”とつぶやく。 |

上記は中国特有の文化である“関係（Guanxi）”の理解のために研修でよく使用する、私自身が体験した事例です。

●回答は？！

④です。実は、タクシー会社から「何も要らないから感謝状だけ送って欲しい」と言われました。

早々、ドライバー宛の感謝状をアシスタントに書いてもらいました。「運転手さんありがとう！…」。

これを見た中国人マネジャーが「違う違う！！」「こんな立派なドライバーを育てた領導（Lingdao）（≒指導者）はスゴイ！」と書かなくては意味がない…とのこと。

●そりゃそうだ!!

ドライバーさんは外国人の私にお礼を言われても、何のメリットもありません。

経営幹部から直属の上司まで、脈絡とつながる利害関係の中で評価を得ることが、直近の春節前の賞与、春節後の紅包の多寡に大きく影響するというものでしょう！

●考えてみれば…

国営企業で勤務していた際に「お客様の為！」「会社の為！！」と提案や意見を申し述べる私に、中国人の同僚が、「自分を引き上げてくれる人に点数を稼がせることだけ考えて仕事をするのが国営企業流」と教えてくれました。

●こんな経験をしたにも関わらず…

今年もまたやってしまいました！宴会の翌日、「お財布がない！」と気付いたのとほぼ同時に携帯電話が震え「昨夜のUberだけど、お財布忘れたよね、どこに届ければよい？」とUber（ネット登録非専業送迎車配車サービス）のドライバーから直接連絡が入りました。

●中国独特の“関係（Guanxi）”はどう変形すのか？

Uberのドライバーは所属組織（単位）とは無関係に、直接顧客とのみ利害関係が発生するとすると、中国における“関係（Guanxi）”（≒戦略的相互利害扶助関係（私的定義））の介在余地はないこととなります。

中国4000年の歴史（？）で育まれてきた、特徴的な中国文化である“関係（Guanxi）”はICTが進化するなか、どう変形してゆくのか？

私は、文化の特性は失われることなく、変形し存続するものではないかと思っていますが…。